別添

【鳥羽市エコツーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■無人島カヤックツアー （３月～11 月　※８/13～15 を除く。）当日予約可 鳥羽湾の無人島（三ツ島）を目指してカヤックを漕ぎます。無人島に上陸して休憩したり暑い日には海に入ったりと自由な時間が過ごせます。 ・海島遊民くらぶ（TEL:0599-28-0001） ■シーグラスアクセサリー作り体験 　※要予約 答志島の海岸で採取したシーグラス(瓶やガラスの欠片が波に揉まれて角が取れ、すりガラス状になったもの)を使ってアクセサリーを作ります。 シーグラスは同じ形のものは二つとないと言われています。 ・島の旅社推進協議会（TEL:0599-37-3339） ■海女小屋体験 　※要予約 令和元年に「日本遺産」に認定された、海女がたくさんいる相差町。海女さんが体を休める海女小屋「かまど」で、現役海女さんの話を聞きながら、食事やおやつを食べる体験ができます。 ・はちまんかまど予約センター(TEL:0599-33-1023) ・相差観光協会(TEL:0599-33-6411) ■海女に伝わる不思議体験「貝紫染め」体験 　※要予約（定員 50 名） 巻貝から分泌される染料で糸や布に染める「貝紫染め」を体験できます。海女たちは、この自然の染色法「貝紫」でイソテヌグイなどに魔よけの印を描いていました。 ・海の博物館(TEL:0599-32-6006)

別添

エコツーリズム推進法の基本理念への活動状況	〈自然環境の保全〉 　海に面した山々で放置されたウバメガシの間伐と利用の循環ビジネスモデルを構築しています。林業会社が間伐したウバメガシで、薪作りを始める一方、協議会でマーケティングを行い、地元の観光を始めとする事業者が薪の購入などで協力しています。 〈観光振興〉 　伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の活動や「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」に参加し、鳥羽エコツーリズムのＰＲ及び情報交換に努めました。 〈地域振興〉 　次世代の担い手の育成及び事業者の意識向上と連携を図ることを目的とし、観光、水産、水産研究査等が参加する研修会を開催し、会員同士の交流を図りました。 〈環境教育の場としての活用〉 　市民や観光客を対象に地質学や生物学、地域文化などを解説するエコツーカフェ等を実施しており、令和５年度は２回開催しました。 　エコツーカフェでは、「鳥羽市水産研究所見学会」を行い、鳥羽の水産資源、環境資源の現状と海洋教育という観点からこれからエコツアーの可能性についての解説が行われた。
特記事項	鳥羽市エコツーリズム推進協議会では、「循環」と「連携」をキーワードに鳥羽のエコツーリズムを進めるため、さまざまな団体が協議会に関わり、協議や仕組みづくり、普及啓発を行っています。